

両城中学校区「教えて考えさせる授業」授業モデル

困難度査定と指導上の工夫
授業での生徒のつまずきを予想し、その指導をどのように行うか工夫点を考える (レディネステスト等からの実態把握をする)

予習
授業の概略と疑問点を明確にして授業に臨ませる (わからないところに付箋を貼る・例題を解く等)

段階レベル		学習活動	授業改善の視点	
教える	教師の説明	導入	<ul style="list-style-type: none"> ◎本時の学習に必要な事項の確認 (前時の復習) (予習の確認) 	<ul style="list-style-type: none"> ○予習を生かした導入の工夫 ○ペアトークを活用して予習の確認をさせ、教師が確認
		課題設定	<p>「学習のめあて」の提示</p> <p>問題把握 → 課題(めあて)の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の「わからない」を解決させる「めあて」の設定と説明
		情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ◎見通しをもたせる説明 【教材・教具・説明の工夫】 <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の活用 ○具体物等の提示 ○モデルによる演示 ↓ 情報を確実に理解する 「本時のまとめ」の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ○対話的な説明 (生徒の発表) ○教材, 教具を工夫して分かりやすい説明 ○説明後に「まとめ」を提示 (めあてに対するまとめ)
考える	理解確認	整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習内容の確認 【疑問点の明確化】 <ul style="list-style-type: none"> ○教科書やノートに付箋を貼っておく 【児童生徒自身の説明】 <ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループで互いに説明 【教え合い活動】 <ul style="list-style-type: none"> ○わかったという児童生徒による教示 	<ul style="list-style-type: none"> ○教えた内容が理解できているか確認する問題を解かせる ○子ども同士の説明活動や教え合い活動を取り入れる (過程の説明) ○全員が説明できるような問題を解かせる
		実行・表現	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習内容の活用 【誤りそうな問題】 <ul style="list-style-type: none"> ○経験上, 生徒の誤答が多い問題 ○間違い発見課題 【応用・発展的な問題】 <ul style="list-style-type: none"> ○より一般的な法則への拡張 ○生徒による問題づくり ○知識・技能を活用した課題 【試行錯誤による技能の獲得】 <ul style="list-style-type: none"> ○実技教科でのコツの体得 ○グループでの相互評価やアドバイス ◎表現活動 (全体での発表) 	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの児童生徒が誤解しそうな問題を解かせる ○教えたことを活用して考えさせる発展的な問題を解かせる ○小グループを活用した協働学習を通して解決させる
	自己評価	まとめ・ふり返り	<ul style="list-style-type: none"> ◎振り返りの記入 【理解状態の表現】 <ul style="list-style-type: none"> ○「わかったこと」「わからないこと」の記述 ◎次時の予告 ◎家庭学習の指示 (予習の指示) 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りシートの活用 ○「分かるようになったこと」や「まだ疑問なこと」の記入 ○「次にやってみたいこと」の記入